



北斗句会 一月定例会 (九日 偕行社 兼題「冬」「年」)

五十音順 特選は特選 石田きよし選

なにごとぞ妻の初髪いとまぶし

大崎石州

静寂を破る一閃初日の出

太田黒幸風

三世代笑まふ家族の賀状の來

大森康政

うつし世をもう一巡り返り花

川瀬 亮

ふるさとの想ひ語らふ味噌雑煮

竹内雲泉

存念のポインセチアを玄関に

田中資凡

「權立て」の声渡りくる初日かな

長池豆陽

冬の月遮るものなかりけり

深見十万

長和殿へ折なす列の淑気かな

藤田紀潮

潮風や大仏裏の冬桜

宮下ひかる

冬銀河荒波寄する竜飛崎

森田光彦

山茶花の白の極まる仏間かな

山縣秀雄

三ヶ日史書紐解きて明日を問ふ

吉岡誠山



居酒屋の置きどころなき冬帽子

石田きよし